

皆さん こんにちは
11番 社会民主党 藤田 誠でございます。

今年も県内の自治体職員が競う、自治体職域駅団大会が開催されました。

かつて、他の自治体が強く、県内の首長会議で自慢されたと聞かされ、陸上部にハッパをかけた記憶がありますが、浪岡との合併前に優勝、合併後更に選手層が強化され、青森市チームが、みごと、9連覇を果たしました。

おめでとう、その力を、市民のための仕事に生かし、さらなる高みを目指してください。

それでは、通告に従い、一問一答での一般質問を行います。

初めに、給与削減について

先の3月定例会で、主事級1%、主査級2%・主幹級3%、課長級10%、次長級10%、部長級10%の給与の削減の給与に関する条例が可決され、4月から実施されました。

市長のアウガの特別清算に伴い、17億円以上を債権放棄せざるを得ない事を踏まえ、市民に対する、市役所の組織全体としての姿勢を示すものとしての給与削減方針でした。

この、給与減額措置について、その市民に対する姿勢については、理解は出来るものの、すべての市役所

職員が対象者とするのは、行き過ぎではないか、の意見や、代表する職員団体に事前通告もなく、削減方針を公表するなど、手続きについて、多くの方から苦言がありました。

色々ありましたが、最終的には、労使交渉で、妥結されました

まもなく、6月の給与の支払日を迎えます。これまで4月、5月の2月を経た状況から、夜の繁華街に市の職員が見当たらないと感じています。

世の中、株価も2万円近くまで上がるなど、政府のアベノミクス効果が現れているのだと思いますが、市役所の中は不景気感が漂って、業務に対する気持ちが落ち込んでいるのではないかと、行政運営に支障をきたしているのではないかと、心配しています。

主事級の1%から職位順に1%ずつ増やし、主幹級3%、次の職位の課長級が次長級、部長級と同じ10%となっています。

この削減率の配分を見ると、削減率が多く、特に課長級の削減率10%は多過ぎるのではと感じています。

全体的にバランスを欠き、副参事・課長級の下位の職務である主幹級と比較をして、課長級に昇格して、喜ぶどころか、収入が減って泣いているのではと心配しています。

そこで、現在の給与削減において、職位間での逆転現象が生じているのではないか、生じているのであれば、是正すべきではないか、市としての考えをお示しください。

次は、河川の氾濫対策について

アメリカが地球温暖化対策をまとめた、パリ協定から離脱を表明、危機的状況と言われている、温室効果ガス対策が遅れるのではと心配しています。

地球温暖化の影響なのか、近年、想定外の豪雨により、全国各地で被害が出ています。

青森市でも平成24年の浪岡川の増水による被害、この時は新城川も増水し、一部護岸が決壊するなど、浪岡地区を中心に大きな被害を出しました。

平成26年の広島の豪雨による土砂災害、平成27年9月の鬼怒川の堤防決壊による住民のヘリによる救出は、ライブで放送され、水害の怖さあらためて感じました。

また、昨年の岩泉町での洪水被害による、高齢者の死亡災害は、記憶に新しい事案でした。

このような、災害等、他都市での事案は、常に青森市に当てはめれば、どうなのか、市民の安心・安全のため、注意していくことも、市としての責務と考えます。

昨年の岩泉町での災害時、青森市内では、予想されたより降雨も少なく、ほっとしていましたが、山間部

の大雨により、駒込川が増水し、駒込の桐の沢地区での浸水があり住民が避難する事になりました。

この昨年の大雨による駒込川増水に伴い、河川脇に倒木が多く存在し、今後河川増水が発生すれば氾濫の危険がありますが、その撤去について、青森県と協議を行ったのか、市の取り組みを、お示し下さい。

次は、自殺防止対策について

日本での自殺者数は、1998年まで、ほぼ二万五千人以下でしたが、その年に、全国的に自殺者が増大しました。その後、年間3万人を超えるようになり、国は本格的に自殺者を減らすため、2006年、自殺対策基本法を制定しました。

この、1998年は魔の活断層と言われ、自殺者が急激に増え、勤務問題では前年比53%と経済問題では70%増えています。

この年、全国平均で前年比35%、その年だけで8,472名が増加しました。

3年くらい前、全国一自殺者が多かった、秋田市が対策を講じ、自殺者を減らした事から、その対応策についての講演会があり、拝聴しました。

昨年の講演会では、今後の課題が示され、都市部対策、若者対策、高齢者対策が求められるとのこと、若者対策については、いじめ防止対策推進法等、様々な対策が強化されています。将来的に重点課題は高齢者対策だと言っていました。

このように、自殺者減少対策は大きく変化をしている中、青森市における、自殺者の現状はどうか、次の2点についてお答え下さい。

- ①市の自殺者数と自殺の原因・動機について
- ②市の自殺防止対策について、お示し下さい

最後は、防犯カメラの設置について
少し前、自宅前から、売り物にならないような腐っている自転車が施錠しているにも関わらず、盗まれました。

自転車は気にならなかったのですが、

私が住む地域には、沖館埠頭があり、外国船入港する事もあり、昔は注意を促されていたようです。

最近は何の盗難の話も聞くこともなく、平穏な日々を送っていましたが、その日以来不安を感じることはありません。

近年、多種多様な事故や犯罪が増えていますが、ニュース等を見ると、動画カメラの画像が問題の解決や早期の犯人逮捕につながるものと感じています。

私は、東日本大震災以降、「市民の安心・安全が第一」を政治課題として掲げ、活動していますが、市民の安心・安全を守るための一つのアイテムとして、とても有効であり、また、防犯カメラの設置には、防犯効果が認められる事から、今後、市として設置していく考えはないか、市の考えをお示し下さい。

以上、壇上からの一般質問を終わります。
ご静聴 ありがとうございました。